価値創造プロセス

新日本空調グループは、2020年に10年ビジョン「SNK Vision 2030」を掲げ、持続可能な地球環境の実現と、お客様資産の価値向上に向けた、ナレッジとテクノロジーを活用するエンジニア集団を目指すことを、基本方針に定めています。将来の見通しやさまざまな変化に対し柔軟かつ機敏に対応するとともに、慣習や既成概念にとらわれず新たなことに挑戦していきます。

インプット

知的資本

特許件数　107件
研究開発費　469百万円

人的資本

従業員数　1,608名
研究開発に従事する従業員数　24名
一人あたりの教育研修回数　1.9回
社内主要研修プログラム数　35種類
一人あたりの研修時間　15.5時間
一人あたりの研修費用　45千円
公的資格保有数　3.88資格／人
・監理技術者　565名
・一級管工事施工管理技士　611名
・一級計装士　210名
・IT関連資格　41名

社会関係資本

顧客数　1,194社
　受注金額　130,869百万円
協力会社数　1,796社
　発注金額　69,522百万円
SNK e-Labo見学者数　104名

自然資本

電気使用量　2,805MWh
ガソリン使用量　38万ℓ

製造資本

当社および子会社　9社（国内3社・海外拠点6社）
海外拠点数　7都市
技術開発研究所　1カ所
SNK e-Labo　1拠点

財務資本

2023年3月期：
総資産　109,146百万円
自己資本　58,105百万円
自己資本比率　53.2%

（2022年度実績値または2023年3月末現在）

事業活動

アウトプット
（事業活動から創出された資本）

知的資本：
《ナレッジマネジメントシステム》
・減災レジリエンス技術や新たな社会課題解決に向けた新技術開発
・産学官、地域連携等による技術提供・共同開発の推進

人的資本：
《ワーク・ライフ・バランス、ダイバーシティ&インクルージョン》
・女性活躍・次世代育成に向け取り組み推進
・女性管理職者比率　2030年5%以上
・男性育休取得率　50%
・障がい者雇用率の法定基準以上
・人権デューデリジェンスの実施
・特定した健康課題に対する健康推進活動の推進

社会関係資本：《品質確保》
・優れた施工品質と空気品質の提供
・サプライチェーンの強化

自然資本：《クリーンエネルギー》
・GHG排出量削減目標の達成
　目標排出量　2030年度：4,351,055t-CO_2、
　2050年度：0t-CO_2
・SCOPE1+2のCO_2発生量
　2021年比　4%以上削減
・再生可能エネルギー率
　2023年度：25%　以降前年度比5ポイントUP
・フロン回収量の把握100%　フロン漏洩量ゼロ
・現場産廃のリサイクル率　90%以上

財務資本：《収益力》
2025年度経営数値目標
・受注工事高　1,350億円
・完成工事高　1,300億円
・営業利益　90億円
・親会社株主に帰属する当期純利益　66億円
・ROE　10%以上
・連結配当性向　30%以上　DOE 3%を下限

アウトカム
（人や社会にとっての価値）

SNK Vision 2030の達成

2030年にありたい姿
P.29

2030年における事業規模（目標）
完成工事高
1,300億～1,500億円
営業利益率　**10%以上**
ROE　**10%以上**

インパクト
（環境・社会・経済への影響）

社会の持続性

企業の持続性